

## 『おかあさん おかあさん おかあさん・・・』

おしま たえこ ちょ こうせいしゅつばんしや  
大島 妙子／著 佼成出版社



かぜを ひいて ねていると、そとは ふぶきに なっていた。おくすりを かいに でかけた おかあさんは まだ かえってこない。おかあさんが ゆき だるまに なって とんでいっちゃったら どうしよう。おかあさん、はやく かえってきて。

## 『山の学校 キツネのとしよいいん』

あしはら かも／さく だかはし かすえ こうだんしゃ  
葺原 かも／さく 高橋 和枝／え 講談社



913

ここは、山のふもとにある えのき小学校。あるひ 小学校の としよしつに ちいさな 子ギツネの リンが やってきました。リンは バーコードをよみとる きかいに きょうみが あるようです。「ピッ、ピッ」という音が お友だちの ことりの なきごえに そっくりなので す。リンは 校長先生の きよかを もらって としよいいんになりました。

## 『ひき石と24丁のとうふ』

おおにし のぶお ちょ かん  
大西 暢夫／著 アリス館



とても寒い岩手の山の中で、90歳をこえたミナさんは 豆腐を作り続けています。原材料の大豆もミナさんの畑でとれたものです。ミナさんは目が不自由なため、手の感覚を頼りに作業をします。道具はすべて手で動かすものをつかっています。山の湧き水を使い薪の火をくべて ていねいにつくられるとうふを、みなさんも たべにきませんか？

## 『さっちゃんとかあちゃん』

わかやま けん／著 こぐま社



さっちゃんのおうちに あかちゃんが うまれました。さっちゃん は あかちゃんが めずらしくて たまりません。けれど あかちゃんと あそぼうと するたびに おかあさんに ちゅういされて しまいます。とうとう おこった さっちゃんは あかちゃんのおむつを めちゃくちゃに ほうりなげて しまいました。



## 『うさこちゃんの おじいちゃんへのおくりもの』

ディック・ブルーナ／ぶん・え まつおか きょうこ／やく  
福音館書店



もうすぐ ふわじいちゃん たんじょうびです。うさこちゃんが おくりものを なににするか なやんでいると、ふわあさんが けいとを くれました。おばあちゃんから あみものを おしえてもらった うさこちゃんはおじいちゃんのために すてきな ものを あみましたよ。

## 『おはなしの もうふ』

フェリーダ・ウルフ、  
ハリエット・メイ・サヴィッツ／文



エレナ・オドリオソーラ／絵 さくま ゆみこ／訳  
光村教育図書

むらの こどもたちは「おはなしの もうふ」に すわって ザラおばあちゃんのおはなしを きくのが だいすきです。ところが そのもうふが だんだん ちいさく なって きました。そのかわり、むらびとたちに けいとの プレゼントが とどきました。プレゼントは おはなしの もうふに そっくりです。さて おくりぬしは だれなのでしょう。

## 『キタリス・ウーと森のお医者さん』

たけたづ みのる ぶん しゃしん せがわ しょうし え  
竹田津 実／文・写真 瀬川 尚志／絵  
PHP研究所 489



お人よし獣医の竹田津さんのもとには、毎朝キタリスのウーがやってきます。ウーは退院して野生に戻ったあとも、竹田津さんを散歩に誘います。ウーと竹田津さんとの心の交流の記録です。

## 『へそまがりの魔女』

あんどう みきえ／文 まきの ちほ え  
安東 みきえ／文 牧野 千穂／絵  
アリス館 913



暗い森に住む年老いた魔女の家に、家族のいないひとりの娘がやってきました。人ぎらいの魔女と暮らすことになった娘は せっせと働 きましたが、魔女のたいどは そっけいがないままです。ある日、お城で赤ちゃんが生まれました。へそまがりな魔女は赤ちゃんに呪いをかけるといいます。その呪いとはどんなものだったと思いますか？